

1. 研修タイトル

幼児理解を少しだけステップアップ！週案を楽しく書こう

～明日が楽しみだ！～

2019年10月17日 講師 目白大学 松永愛子

2. ねらい

- ① それぞれが考えたこと・感じたことを自由に発信すると、仲間にアイデアを与えられる、自分自身もいろいろなアイデアをもらえる！という確信を持つ。
- ② 話し合いを通して、子ども理解と援助の力を一歩UP。遊び保育の楽しさ、やりがいのカケラを見つける。
- ③ 10日間という幅で見通しをもって、アイデアがたくさん生かせるような方法を模索しながら保育計画をたてることに挑戦しよう。

3. 研修内容

事前準備

- ・もし可能であれば、10日指導案様式（案）を用いて、10日案を立てて保育をしてもらえますでしょうか。（10月7日月～18日まで案）

※使ってみて、研修の見通しをもつこと、使いやすいところ・使いにくいところを感じて、当日に修正していくことが目的です。そのため、十分に使いこなせなくても構いません。これを今後絶対に使っていく、ということではなく、このような様式はどうだろうか？という提案の一つなので、強制ではありません。

当日 保育中 8時30分～11時30分

研究者：幼児クラスを中心に観察します。（乳児クラスもできるだけみさせていただきます）

保育者：

- ① 室内での遊び保育を1時間くらい実施してください。
- ② 保育者の動きについて困ったこと、うまくいったことなどのエピソードを発表できるように心の中でメモしておいてください。
- ③ 可能であれば、写真を撮っておいてください（必須ではありません）。

当日 研修 午前中、保育室で1時間は自由な遊びの時間を確保してください

- ① 10日指導案様式（案）を持参する。

月のねらい、週のねらいを確認する。

- ③ 研修当日の保育のよかったところ、難しかったところについて振り返り、話し合う。（20分）

※（1人5分×担任2人）×2クラス＝20分

1. ゆり2名－ひまわり2名＋フリー
2. ばら2名－ふじ2名＋フリー
3. あじさい2名－さくら2名＋フリー
4. ちゅりっぷ2名－すずらん2名＋フリー
5. すいせん2名－保育部＋フリー

- ③当日の保育について、よりよくなるための環境構成について話し合う。（20分）

※2クラス×10分＝20分

④話し合いを発表、シェアする (15分)

※5グループ×3分=15分

⑤松永から今日の保育について、次の10日間につながるような視点でコメントをする。(30分)

※30分

⑥話し合ったことをもとに、10日指導案(案)を、同僚と話し合いながら、作成してみる。(30分)

※30分

- ・前10日指導案(案)の反省をする。
- ・次の10日指導案(案)について、付箋を使って考えてみる。
- ・使いこなすのが難しいところは、講師や同僚と話し合う。

⑦まとめ、感想 (5分)

※5分

後日

- ・研修の感想、残った質問などを別紙にてお書きください。(全欄を埋めなくても大丈夫です)
- ・ウェブや個人メールなどを通じて残った疑問についてお答えできればと思います。
- ・10日指導案(案)を使ってみての率直な感想もいただければと思います(便利、ここは不便、など)

留意点

① 「10日案の様式(案)」を作りました。「案」なので、先生たちのほうでより使いやすく変えてもらってもよいです。研修の中で初めてこの様式を使うと、なれないかと思います。そのため、もし可能であれば、予習のような形で、10月7日の週から1回使ってみてもらいたいです。十分使いこなせなくても大丈夫です。無理はしないでください。

② 「10日案」の書き方について

まだ曖昧なアイデアや、具体性がないけれどもこういう方向でいきたい、というようなアイデアは、欄外の「アイデア&タスク欄」に、付箋で書き込んでおき、後からペンで書き込んだり、付箋を移動させたりして柔軟性をもたせておくと、書き込みやすいかと思います。使い方は先生方の自由！でこうしてはいけない、ということはありませんが、原則的な案を下に載せます。

タスク欄	この2週で、既にやることが決まっていること、行事等を箇条書きにしておく。日程が決まれば、書き込むか、付箋を貼る。
アイデア・メモ欄	この2週で、具体的には決まっていないが、こうしてみたい、ああしてみたい、というメモを箇条書きにする。 例： ・おばけの絵本を読む(タイトルが決まったら、タスク・決定事項欄に書き込むか付箋はる。) ・海で遊べる道具を作る(具体的に決まったら、タスク・決定事項欄に書き込むか付箋はる。)

2週の反省欄	次の2週に向けて残った課題や、新たに見出された願いを書きます。(次の「ねらい」につながることをメモします)。
--------	--

③ 担任1人が書くと、負担感があるかもしれません。クラス担任二人で、10分トークのような時間に、話し合いながら作ってもらえたらベストかと思います。

④ 10日指導案の様式はA4で作成していますが、A3に拡大して、下部をセロハンテープで貼ってお使いください。

宿題

もし余裕があれば、宿題に取り組んでみてください。そして、研修後の感想欄において、どのように保育実践にとりいれてみたか、お書きください。そのままを取り入れなくても自分なりにこう理解して取り入れてみた！ということでも大歓迎です。前回の宿題に取り組んでいただいてもOKです。

———今回の宿題———

①読んでみてほしい本

・「コロコロドミノ装置 kids 工作 BOOK」野出正和

トイレットペーパーやティッシュ箱でつくれる、ピタゴラ装置について超簡単に教えてくれる本です。野出氏の本はほかにも迷路やロボットなどもあり、楽しいです！保育室においておいて子どもの反応がみたくなる1冊。

・「あなたが変える室内遊び 0～2歳」東間 掬子

今回参加は難しいかもしれませんが、乳児クラスの先生に特にしっておいてもらいたい一冊！もともと都内の公立保育園の先生だった著者が、実際に自分のクラスでしていた取り組みをまとめた本です。すごく破天荒な方だったのではないかなと…おもいますが、ちょっとした工夫で狭い室内でも体を動かせる工夫、一人の時間を確保する工夫、集中できる工夫がたくさんあります。この方の本は、たくさんありますが、最初にでたこの1冊の密度がいちばんすごいと私は思います。

・「あなたが変える庭遊び 乳児～幼児」東間 掬子

上の作者の園庭編です。本当に破天荒な方だったのでは・・・と思いますが、とても楽しそうです。乳児だけでなく、幼児も楽しくなる方法があります。すべてを取り入れることはできなくても、あ、これはいいな、と思えるものがきっとあります！

・教育・保育要領（2018年改訂）

あらためて、目を通してみてください。

②みてほしいTV・映画等

・プリキュア、仮面ライダー、ディズニー映画など今年は何が流行っているのか、1つでもいいので、実際にみてみてください。

これらを直で保育に取り入れる…ということではありませんが即×というわけではないと思います。子ども理解の一環として、子どもたちは日々どのようなイメージ、ストーリーに触れているのか知っておいてください。そのうえで適切に距離をとりつつ、過剰なもの・不足なものを認識しつつ、保育の中で子どもからこれらのイメー

ジがでてきたらどのように反応しようか心構えをしておいてください。（例えば、今年は、アナ雪 2 が 10 月頃に封切になります。その前にテレビでアナ雪 1 の再放送があるでしょう。アナ雪 1 の時は、全国の園で子供たちの中で半年くらい遊びが流行したようです。今回はどうなるのか、心構えをしておきましょう。アラジン実写版等も同様。）

———前回の宿題———

①読んでみてほしい本

- ・「子どもも保育者も笑顔になる！遊び保育のための実践ワーク」吉田龍弘他

小川先生の保育方法論を、よりわかりやすい文章で、イラストや事例いっぱいに説明している本です。薄めの本ですが、小川先生の理論の大事なところを理解できます。そして、自分なりに考えたり応用したりしやすくなる本です。

- ・「絵本の庭」東京子ども図書館

質の高い絵本を 1157 冊集めたブックリストです。素晴らしいのは、本の後ろにあるぶあつい索引！！絵本の内容、行事、仕事、登場人物・動物、植物、虫、出来事、感情、20 人以上の読み聞かせ向きかどうか、乳児向けか、などなどたっくさんのテーマによって検索できるようになっています。保育の中で、子どもの体験の共通基盤を作りたい時、活用したくなる本。

②みてほしい TV

- ・ノーゾーのひらめき工房 E テレ

保育の中でもとりいれられそうな工作のアイデアがいっぱい！テーマごとの工作（お店屋さん、お祭り、水族館…等）だけでなく、はさみの技術、段ボールの技術、などスキル回も充実。毎週 15 分放送しています。

※このテレビの内容を「一斉保育でとりいれてほしい」、「遊び保育の中で同じことをしてほしい」ということではありません。素材の種類をどう増やすか、素材をどうアイデア豊かに扱うか、子どもたちをどう面白がらせるか等の観点から、子どものやりたいことに応えるときのアイデアの一つとして活用してください。活用できるタイミングはすぐには来ないかもしれませんが、アイデアを蓄えるために見てみる感覚で大丈夫です。※

10 日指導案（案）使い方例

① 2週連続でみる時（真ん中をテープで貼ります）

議題	組	月 日～ 月 日	月のねらい					
担任 ()	担任 ()		2 週のねらい					
アイデア・メモは具体的に決まっていなくても、こうしてみたい、というメモを書く。 (例) おは日の絵本を読む(の) ティムンや時限が決まったら、下欄に書くが作業は、 1772の行事、決定事項等、付箋で貼りに入れている、後で書き入れてもよい。								
幼児の取り組みと援助の反省								
本題される活動／指導構成 NEEK				各頁を A3 サイズに印刷し、ココを セロハンテープでとめてください				
アイデア・メモ								
タスク・決定事項				日 (月)	日 (火)	日 (水)	日 (木)	日 (金)
アイデア・メモ								
本題される活動／指導構成 NEEK								
幼児の取り組みと援助の反省								
交流の反省欄				役った課題				
2 週間のねらいと 振り返り				新たな願い				

② 一週間ごとと見るとき（真ん中で折ります）

	歳児 組	月 日～ 月 日	月のねらい			
	担任 () 担任 ()	2週のねらい				
	アイデア・メモ 具体的には決まっていなくても、こうしてみたい、というメモを書く。 （例：おばけの絵本を読む） タイトルや時期が決まったら、下欄に書くか付箋はる。 （タスク行事、決定事項等、付箋で仮に入れておいて、後で書き入れてもよい。）					
幼児の取り組みと援助の反省						
予想される活動／環境構成 1 WEEK	アイデア・メモ	各頁をA3サイズに印刷し、ココをセロハンテープでとめてください				
	タスク・決定事項 日(月)	日(火)	日(水)	日(木)	日(金)	

予想される活動／環境構成 2 WEEK	タスク・決定事項 日(月)	日(火)	日(水)	日(木)	日(金)
	アイデア・メモ				
幼児の取り組みと援助の反省					
2週の反省欄	残った課題		新たな願い		
2週のねらいと照らし合わせて	次週のねらいにつなげよう				

③ 2週連続のカレンダーとして使うとき（上下を折ります）

各頁をA3サイズに印刷し、コピをセロハンテープでとめてください

予想される活動／環境構成 1 WEEK	日 (月)	日 (火)	日 (水)	日 (木)	日 (金)
アイデア・メモ					
タスク・決定事項					

予想される活動／環境構成 2 WEEK	日 (月)	日 (火)	日 (水)	日 (木)	日 (金)
アイデア・メモ					
タスク・決定事項					